

2025年度事業報告書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(特定非営利活動法人輝きネットワーク)

1 事業の成果

山形市が掲げるすべての人々が役割を持って共に支えあう「地域社会」の考えを、メディアかがやきの運営方針に取り入れ、利用者様、職員の生活を守る運営を目指してきた。新たなB型事業所が増え、在宅利用が促進され、利用者様の中には他の事業所の在宅支援を利用する方も出てきた。家庭の事情や体調不良による長期休みの方もいて、利用状況は大きく落ち込んでしまった。利用者受け入れのために相談支援へ働きかけを行ってきたが、どこの事業所も利用者確保に苦労しているという状況のなか改善できなかった。目標工賃は工賃変動積立金を取り崩して達成した。

メディアかがやきの利用者様一人一人に対するよりよい支援をするために、職員のスキル向上、人材確保に力を入れた。サービス管理責任者の交替に向けた引継ぎを行い、理事の協力も得て業務の見直しを行った。職場環境改善に向け、ほのぼのモアソフトを導入した。また、産休育休職員の代わりの職業指導員を確保した。新入職員への研修に取り組み、職員全体の虐待防止・身体拘束廃止についての研修会を虐待防止委員長の参加も得て行った。

更に、社会全体の賃金改善の流れの中、処遇改善緊急支援金も活用し、職員の処遇改善に努力した。

また、法人役員の協力を得て、BCP委員会の毎月の訓練や避難訓練を実施した。

メディアかがやきでは、Windows10のサポート終了に伴い、パソコンをWindows11にアップデートしたり、入れ替えを行った。また、インターネット上での仕事が増える中、セキュリティを強化するためのBeatシステムを導入した。

しかし、IT関連の仕事はなかなか増えず、終了となる作業もあった。スキルアップのためにも1月にeラーニングシステムを導入し、IT関連の仕事確保を目指している。一方、軽作業では新たな作業を導入して作業量の確保を目指した。パソコン、軽作業それぞれ一人一人に合わせて取り組んできたが、工賃向上と利用者確保につながなかった。

- 1、スキルアップを図る事業ではアビリンピックに取り組み、ワードプロセッサ競技に参加した。また、表計算について講師をお願いして、2名が参加して講習会を行った。1月からeラーニングシステムを導入した。

- 2、利用状況としてはパソコン部目標9人に対し7.5人、軽作業部目標3人に対し、1.3人、合わせて年間で8.8人であった。

出店料無料のサイト（BASE）のかがやきショップでは、集客方法や商品開発など課題は多く、売り上げにはつながらなかった。手作り作品のサイト（minne）にフェ

ルト作品を出品した。ようやく 1 件購入があった。

共同受注センターの紹介で始まった山形タクシーの施設外支援は、担当利用者様の体調不良のため、継続することが難しくなり、5 月で終了した。

- 3、 在宅利用に取り組んでいる 1 名は、継続して行い、体調の維持につながっている。サイボウズを支援に活用した。
- 4、 事業継続委員会による安否確認訓練を LINE とメールで交互に毎月行い、理事の方々にも協力してもらい避難訓練を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
小規模作業所・ 障害福祉サー ビス・地域生活 支援事業等を 設置運営する 事業	就労継続支援 B 型事業を運 営した。	年間開所 239 日	メディアか がやき	5 名	18 名	29, 147